

【令和4年度 狛江第五小学校学校経営全体構想】

令和4年4月1日
狛江市立狛江第五小学校
校長 伊藤栄司

令和4年度学校教育目標

○明るい子：共感する力
◎考える子：学びを活かす力
○強い子：やり抜く力
～人のために全力を尽くす児童の育成～

法に基づく教育活動

- 日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法
- 学習指導要領 ○東京都教育目標 ○市の教育目標
- 管理運営に関する規則

市の教育目標

- 1 互いの生命と人格・人権を尊重し、社会に貢献する意識の醸成
- 2 確かな学力の定着と個々の能力や想像力を伸ばし郷土や国を愛する心をはぐくむ学校教育の充実
- 3 すべての世代にわたる市民のための学習環境と運動環境の整備

実現するための手立て

安心・安全を守る

- 地域連携防災訓練の実施
- 不審者等への対応体制
- 子供の遊びを見守る
- 火災、地震、水害、の避難訓練の実施
- 生活指導便りの発行

授業の質の向上

- タブレット型端末機の活用
- 特別支援教育の推進
- 研究成果を活用した授業実践
- OJTの推進 ○OFF-JTと学びの共有
- 体罰の根絶（体罰ゼロ） ○SDG'sの理解

校内研究の充実

研究を通して授業力の向上を図る

子供の発達をどのように支援するか

- 個の実態把握と共通理解
- ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備と授業内容の工夫
- 特別支援学級への理解と啓発の推進
- SC・SSWとの連携、個人面談の実施
- hyper-QUの活用

コミュニティスクールの推進

- 学校支援コーディネーターとの連携
- 保護者、学校関係者による評価の活用
- 積極的な情報発信
- 地域行事等への参加
- 地域で学び、交流する学習
- 幼保小中（高）の連携

具体的重点目標

明るい子（共感する力をつけるために）

- ※友だちに声をかけ、仲良くしている。
- ※挨拶・返事・後始末を進んでいる。
- ※自分のやるべき事がきちんとできる。
- ※言葉遣いに気をつけている。
- ※縦割り班活動を通して異学年交流を深めている。
- 道徳科の推進
- 異学年交流の実施
- 規範意識の向上
- 人権感覚の醸成（いじめゼロ）
- 援助希求的態度の育成

◎考える子（学びを活かす力をつけるために）

- ※楽しく学習に取り組んでいる。
- ※自ら課題を見つけ解決している。
- ※思いや気持ちを自分の言葉で表現している。
- ※抽象化して物事を考えている。
- 持続可能な社会の実現（SDG'sへの理解）
- 言語力を高める学習習慣
- 基礎的な知識・技能の定着
- プログラミング教育の推進
- 読書を通じた探究的学習
- キャリアパスポートの作成

強い子（やり抜く力をつけるために）

- ※健康に気をつけながら進んで運動に取り組んでいる。
- ※栄養に関心をもち好き嫌いなくなんでも食べている。
- ※途中で投げ出さず、最後までやり抜いている。
- ※家庭学習に継続的に取り組んでいる。
- 学校2020レガシー教育の推進（伝統・文化）
- 鉄棒、ペースランニング、縄跳び週間の充実
- 食育の推進

プロの教員集団として子供のために全力を尽くす（目指す教師の姿）

- ① 児童一人ひとりの心の変化を見取り、声をかけ、児童と温かい人間関係をつくる。
- ② 校内研究・研修を通して常に新しい授業を提案し、質の高い学習を児童に提供する。
- ③ 保護者と連絡を密にとり、丁寧な対応を心がけ、保護者の不安を払拭する。
- ④ 危機を素早く察知し事故を未然に防ぐとともに、怪我や病気には迅速に対応する。
- ⑤ 保護者・地域とのつながりを大切にし、保護者・地域の期待に応える教育活動を実践する。